

令和5年度下田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・包括担当エリアの高齢化率は約24%で区内でも高い水準で、かつ高齢者独居世帯割合は約15%と区内一位の高さとなっている。 ・高齢者の中での要介護認定率が高く、特に要支援認定率は区内で一位である。 ・但し、認定者のうちの約9割近くの方が何らかの在宅サービスを利用しており、要支援認定者が要介護に悪化する傾向は少なく、比較的体調を維持されているエリアでもある。 ・要支援認定者であっても地域のイベントやケアプラザ事業に参加されている方も多く、上記の裏付けとも読み取れる。 ・山坂等起伏の大きい地形からお住まいの場所によっては集える場所への行きにくさがあり、身近なところで集まれる場所等を開拓していく必要があると認識している。 ・また、認知症に関する相談は依然と多く、地域の認知症への理解や認知症でも通える場所づくり活動を継続する方針である。 ・地域の自治会や民児協等への支援については、引き続き、各職員が積極的に活動などに関わりながら支援していきます。 ・年度が替わり、役員の変更やエリア内の民児協の分割等があり、これまでとは違った地域の動きや活動が検討されていることから、これらを具現化させるための新たな担い手の発掘や活動の場所の提供を行います。 		
— 具体的な取組内容 —		
新規	継続	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【認知症支援事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する啓発活動の継続（認知症サポーター養成講座等） ・小中学校と協働した啓発活動により、その親に対しても認識を深めてもらう。 ・貸館団体への個別啓発活動 ・認知症であっても参加できる場づくり（下田メモリーカフェ等） ・認知症初期集中支援チームとの連携。 ・適切なサービスへの結びつけ、民生等への情報提供（家族らの同意を得て）。 ・「下田版認知症家族のつどい（家族向け認知症講座）」（仮称）の創設を試みる。 ・エンディングノートの啓発と実践。 ・任意後見制度等の啓発。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・「きょういきょうよう講座」（仮称）の実施。 ・ラジオ体操等定期的に参加できる場の継続および開拓。 ・体力測定会等、自身を振返る場の定期開催。 ・区域でのケアマネ向け研修の実施。 ・地域情報の提供。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		

令和5年度下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。 ・日々得られる情報について、施設独自の広報紙やホームページ、さらには独自に行っているSNS(ツイッター)等、様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。 ・施設利用に関して、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるよう、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他、細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。 ・横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内事業所の事故事例やヒヤリハット等も事故防止対策として活用します。 ・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っていきます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛け作りを考え地域力を高めていきます。	利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。	【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。
職員体制	主任介護支援専門員:1人 社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)	介護支援専門員 2人(常勤専従2人)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】週7日 【提供時間】9:15～16:20 【定員】40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ●食費負担 750円/食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費 1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	生活相談員兼介護職員:3人 看護職員:3人 介護職員:17人 運転手:8人		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,163,266		19,163,266		19,163,266	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	3,724,217		3,724,217		3,724,217	
収入合計	22,887,483	0	22,887,483	0	22,887,483	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,944,483	0	12,944,483	0	12,944,483	
本俸	9,000,000		9,000,000		9,000,000	
社会保険料	1,824,483		1,824,483		1,824,483	
手当計	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
健康診断費	26,000		26,000		26,000	
勤労者福祉共済掛金	4,000		4,000		4,000	
退職給付引当金繰入額	90,000		90,000		90,000	
その他			0		0	
事務費	1,550,000	0	1,550,000	0	1,550,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	
消耗品費	370,000		370,000		370,000	
会議開費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	240,000		240,000		240,000	
使用料及び賃借料	540,000	0	540,000	0	540,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他	540,000		540,000		540,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000		100,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	100,000		100,000		100,000	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費	3,600		3,600		3,600	
その他	181,400		181,400		181,400	
事業費	480,000	0	480,000	0	480,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	480,000		480,000		480,000	
その他			0		0	
管理費	7,439,000	0	7,439,000	0	7,439,000	
光熱水費	5,972,000		5,972,000		5,972,000	
清掃費	620,000		620,000		620,000	
機械整備費	122,000		122,000		122,000	
設備保全費	725,000	0	725,000	0	725,000	
空調衛生設備保守	300,000		300,000		300,000	
消防設備保守	70,000		70,000		70,000	
電気設備保守	75,000		75,000		75,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	250,000		250,000		250,000	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	850,000	0	850,000	0	850,000	
事業所税			0		0	
消費税	850,000		850,000		850,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	23,737,483	0	23,737,483	0	23,737,483	
差引	△ 850,000	0	△ 850,000	0	△ 850,000	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	480,000	0	480,000	0	480,000	
自主事業 収支	△ 480,000	0	△ 480,000	0	△ 480,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和5年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,851,831		24,851,831		24,851,831	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,873,261		5,873,261		5,873,261	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	30,879,092	0	30,879,092	0	30,879,092	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,092,092	0	26,092,092	0	26,092,092	
本俸	15,652,092		15,652,092		15,652,092	
社会保険料	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
手当計	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000		10,000	
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000		400,000	
その他			0		0	
事務費	1,420,000	0	1,420,000	0	1,420,000	
旅費	75,000		75,000		75,000	
消耗品費	195,000		195,000		195,000	
会議ठी費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	300,000		300,000		300,000	
使用料及び賃借料	400,000	0	400,000	0	400,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他	400,000		400,000		400,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000		100,000	
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	90,000		90,000		90,000	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	160,000		160,000		160,000	
事業費	1,119,000	0	1,119,000	0	1,119,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000		255,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000		80,000	
その他			0		0	
管理費	2,122,000	0	2,122,000	0	2,122,000	
光熱水費	1,792,000		1,792,000		1,792,000	
清掃費	160,000		160,000		160,000	
機械警備費	40,000		40,000		40,000	
設備保全費	130,000	0	130,000	0	130,000	
空調衛生設備保守	10,000		10,000		10,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	20,000		20,000		20,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	70,000		70,000		70,000	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000	0	126,000	0	126,000	予算：指定額
公租公課	100,000	0	100,000	0	100,000	
事業所税			0		0	
消費税	100,000		100,000		100,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	30,979,092	0	30,979,092	0	30,979,092	
差引	△ 100,000	0	△ 100,000	0	△ 100,000	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	489,000	0	489,000	0	489,000	
自主事業 収支	△ 489,000	0	△ 489,000	0	△ 489,000	

管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市下田地域ケアプラザ

5年4月1日～ 6年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	6,000		6,000	6,000		6,000	11,500		11,500	74,500		74,500	1,500		1,500	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,850	0	20,850	450	0	450	
	事業・負担金収入			0			0			0	13,200		13,200	300		300	
	利用者食事代収入			0			0			0	6,350		6,350	150		150	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
	その他(利用者等外給食費)			0			0			0	1,300		1,300				0
	収入合計(A)	6,000	0	6,000	6,000	0	6,000	11,500	0	11,500	95,350	0	95,350	1,950	0	1,950	
支出	人件費	5,810		5,810			0	10,680		10,680	63,800		63,800			0	
	事務費	210		210			0	770		770	3,500		3,500			0	
	事業費	0		0			0	50		50	9,000		9,000			0	
	管理費	113		113			0	360		360	19,000		19,000			0	
	その他	2,000		2,000	2,000	0	2,000	100	0	100	5,224	0	5,224	0	0	0	
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0	
	消費税			0			0	100		100	100		100			0	
	介護予防プラン委託料	2,000		2,000	2,000		2,000			0			0			0	
	利用者等外給食費			0			0			0	1,400		1,400			0	
	施設使用料負担額			0			0			0	3,724		3,724			0	
	その他			0			0			0			0			0	
支出合計(B)	8,133	0	8,133	2,000	0	2,000	11,960	0	11,960	100,524	0	100,524	0	0	0		
収支 (A)-(B)	-2,133	0	-2,133	4,000	0	4,000	-460	0	-460	-5,174	0	-5,174	1,950	0	1,950		

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか、地域の住民の情報交換の場として下田4丁目公園を会場に実施した。	5:地域		ラジオ体操の実施		
2	子育てサロンすてっぷ	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちをお互い対象とし、子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会を提供する。	3:養育者及び乳幼児		子育てサロン(情報交換のつどい)		
3	喫茶マロニエ亭	平成13年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保と身近な健康チェックを提供する。	1:高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス		
4	おはなしもだ	平成27年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	心の病を抱え外出先や悩みの吐き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン。	2:障害児者		精神講座「こころの病について」		
5	認知症キャラバンメイト「おしゃべり九首鳥」	平成30年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	認知症キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を開催し地域住民へ認知症に対する理解を深めると共にサポーターとして支える側になってもらうよう、講座を企画・運営する	5:地域		認知症サポーター養成講座の企画・運営		
6	御食事処すずらん	平成15年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の独居高齢者等を主な対象に社会性を保つための外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。	1:高齢者		独居高齢者食事会		
7	下田メモリーカフェ	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場、支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	1:高齢者		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ		
8	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではない事を周知するとともに、学校の長期休暇を利用し、児童生徒が参加できる交流の場を提供。	4:子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習		
9	下田式事例検討会	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	平素より関わりのあるケアマネジャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施	6:事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例をもとに「パーソン・センタード・アプローチ」という手法で、事例検討会を実施。		
10	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働で、スキルアップのための勉強会を実施	6:事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め、勉強会を実施。		
11	しもだ畑プロジェクト	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において3密を避けつつ、住民同士の交流ができる場として農業活動を企画。	5:地域		前期・後期に分け農業活動を実施		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
12	親子芋ほり体験会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児とその保護者を対象に外出先を提供。6月にジャガイモ・10月にサツマイモの収穫を計画	4:子ども・青少年		お芋ほり		
13	行政書士相談会	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	行政書士による無料巡回相談会。成年後見や遺言相続についての相談対応。	5:地域		成年後見相談会		
14	成年後見セミナー	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対して成年後見制度に関する普及啓発	5:地域		成年後見の講演会		
15	ババの体験赤ちゃん会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日吉地区およびその周辺に住む第1子の0歳児を持つババを対象に参加者同士の交流やミニシアターなど。ババのネットワークが作れるきっかけを提供する。	4:子ども・青少年		ババ同士の交流会		
16	気軽に健幸大作戦！	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において外に出る機会が減ったことにより、運動機能の低下やご近所同士の交流も少なくなってきた事を受けて、ケアプラザを会場とした簡単な脳トレやセルフケアの講座を企画し、参加者の健康維持と交流をはかる	1:高齢者		「まちの先生」より、詩吟・お灸・折り紙の講師を呼び、全3回の講座を実施		
17	水引体験講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	贈答品などに付けられ、さまざまな色や形がある飾りひもの水引を使って簡単なアクセサリーを制作します。楽しく日本の伝統工芸を学べる連続講座	5:地域		水引のアクセサリー制作体験		